

長岡市「週休 2 日適用工事」(令和 7 年 4 月) 実施要領

【営繕工事】

1 目的

本要領は、営繕工事における週休 2 日の取組みにおいて労務費の補正等の試行を行うために必要な事項を定め、もって週休 2 日を促進することを目的とする。

2 用語の定義

(1) 週休 2 日

- ① 月単位の週休 2 日とは、対象期間において、全ての月で 4 週 8 休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。
- ② 通期の週休 2 日とは、対象期間において、4 週 8 休以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。

(2) 対象期間

工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日までの期間をいう。
なお、年末年始休暇 6 日間、夏季休暇 3 日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等は含まない。

(3) 現場閉所

巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場が閉所された状態をいう。

(4) 現場休息

分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて 1 日を通して現場作業がない状態をいう。

(5) 4 週 8 休以上

- ① 月単位の 4 週 8 休以上とは、対象期間内の全ての月ごとに現場閉所（現場休息）日数の割合（以下「現場閉所（現場休息）率」という。）が、28.5%（8 日/28 日）以上の水準に達する状態をいう。
ただし、暦上の土曜日・日曜日の日数の割合が 28.5% に満たない月においては、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っている状態をいう。
なお、現場閉所日（現場休息日）を原則として土曜日・日曜日としない場合においては、上記の「土曜日・日曜日」を受発注者間の協議により変更できるものとする。
- ② 通期の 4 週 8 休以上とは、対象期間内の現場閉所（現場休息）率が 28.5%（8 日/28 日）以上の水準に達する状態をいう。

なお、現場休息率の算出において、現場休息の日数には現場閉所の日数を含む。

また、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日や猛暑による作業不能日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

3 対象工事

本実施要領は、令和7年4月1日以降に公告又は指名通知を行う、当初設計額が130万円を超える営繕工事に適用する。

ただし、発注者が「週休2日適用工事」に適さないと判断した以下に該当する工事は除外することができる。

- ・ 地域の実情、現場条件（関連工事）等により対応が困難な工事
- ・ 災害復旧工事
- ・ 現場作業が概ね4週未満の工事

4 発注方式

次の①または②のいずれかによる方式を基本とする。

なお、一つの工事現場で複数の工事が分離発注される場合は、全ての工事について同一の方式を選択する。

① 発注者指定方式

発注者が月単位の週休2日に取り組むことを指定する方式

（設計書に別紙1『長岡市「週休2日適用工事」（令和7年4月）【営繕工事】特記仕様書（発注者指定方式）』を添付する。）

② 受注者希望方式

受注者が工事着手前に発注者に対して月単位の週休2日に取り組む旨を協議した上で取り組む方式（通期の週休2日は必須）

（設計書に別紙2『長岡市「週休2日適用工事」（令和7年4月）【営繕工事】特記仕様書（受注者希望方式）』を添付する。）

5 積算方法等

(1) 補正方法

「週休2日適用工事」において、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた以下の補正係数により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正する（市場単価等の補正率は、令和6年3月22日付け国営積第13号、国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課営繕積算企画調整室長通知を準用する（別添1））。

- | | |
|--------------------|-------|
| ① 月単位の週休2日（4週8休以上） | 1. 04 |
| ② 通期の週休2日（4週8休以上） | 1. 02 |

(2) 積算及び変更方法

① 発注者指定方式

月単位の4週8休以上を前提に、(1)①により労務費を補正し工事費を積算して予定価格を作成する。

現場閉所（現場休息）の達成状況を確認し、月単位の4週8休を満たさず、通期の4週8休以上を達成した場合は、補正係数を(1)②に変更し、通期の4週8休に満たない場合は、請負金額のうち労務費補正分を減額変更する。

なお、契約変更においては、長岡市建設工事請負基準約款（平成23年3月31日告示第98号）第25条の規定に基づき行うものとする。

② 受注者希望方式

通期の4週8休以上を前提に、(1)②により労務費を補正し工事費を積算して予定価格を作成する。

現場閉所（現場休息）の達成状況を確認し、月単位の4週8休以上を達成した場合は、補正係数を(1)①に変更し、請負金額のうち労務費補正分を増額変更し、通期の4週8休に満たない場合は、請負金額のうち労務費補正分を減額変更する。

なお、契約変更においては、長岡市建設工事請負基準約款（平成23年3月31日告示第98号）第25条の規定に基づき行うものとする。

6 現場閉所（現場休息）の確認方法等

(1) 現場閉所（現場休息）の確認方法

① 工事着手前

- ・ 監督員は、現場閉所（現場休息）の予定日を記載した「実施工程表」等を受注者より受領し、月単位の週休2日又は通期の週休2日が確保されていることを確認する。
- ・ 「対象期間」の設定として、工事着手日及び必要に応じて工場製作のみを実施した期間などの対象外とする期間を受注者と協議により決定する。
- ・ 分離発注工事の受注者は、受注者間で協力し、工事の進捗に影響が出ないよう現場閉所（現場休息）の予定日を調整した上で、その予定日を記載した「実施工程表」等を作成し、監督員に提出する。

② 工事着手後

- ・ 監督員は、工程計画の見直し等が生じた場合には、その都度現場閉所（現場休息）の予定日を記載した「実施工程表」等を受注者より受領し、現場閉所（現場休息）の状況を確認する。なお、「実施工程表」の修正に当たっては、受注者間で調整を行う。
- ・ 監督員は、受注者が作成する現場閉所（現場休息）の日が記載された「実施工程表」等により、定期的に対象期間内の現場閉所（現場休息）日数を確認する。

- ・ 受注者は、監督員による現場閉所（現場休息）の状況の確認のため「実施工程表」等に「現場閉所（現場休息）日」を記載し、監督員に提出する。

③ その他留意事項

- ・ 現場閉所（現場休息）の状況の確認に当たっては、新たな書類作成等により事務負担が増大しないよう留意し、既存の書類の活用に努める。
- ・ 監督員は、現場閉所（現場休息）の前日などに、現場閉所（現場休息）の日により作業が発生するような指示等は行わないように配慮する。
- ・ 監督員は、一つの工事現場において、設備工事、内装工事等の後工程の適正な施工期間を考慮して、全体の工程に遅延が生じないように、各工事間（分離で発注した工事を含む。）の調整を適切に実施する。
- ・ 工事の一時中止を行う場合など、対象外とする期間を変更する必要がある場合は、その都度、監督員は受注者と協議する。
- ・ 監督員は、統括安全衛生責任者を選任している場合で、その者が職務を行うことができないときは、労働安全衛生法等の規定に基づき、代理者を選任しなければならないことから、「実施工程表」等を受注者から受領した際に、統括安全衛生責任者を選任している受注者が現場休息の日となる場合の体制について必要な調整を行う。

(2) 「週休 2 日適用工事」の見える化

受注者は、「週休 2 日適用工事」である旨を仮囲い等に明示する。

(3) 工事成績評価

発注者は、月単位の週休 2 日（4 週 8 休以上）を確保した場合、工事成績評価において、以下のとおり加点評価するものとする。

評価者	考査項目	評価対象項目	評 価
監督員	5. 創意工夫	■その他 「月単位の 4 週 8 休以上」を達成した。	+1.0 点の加点評価 (100 点換算で +0.4 点)

また、工事着手前に受注者から提出された「実施工程表」等が、月単位の週休 2 日又は通期の週休 2 日の取得を前提としていないなど、明らかに受注者側に月単位の週休 2 日又は通期の週休 2 日に取り組む姿勢が見られなかった場合は、工事成績評価において点数を減ずる措置を行うものとする。なお、受注者希望方式においては、月単位の週休 2 日に関する点数を減ずる措置は行わないものとする。